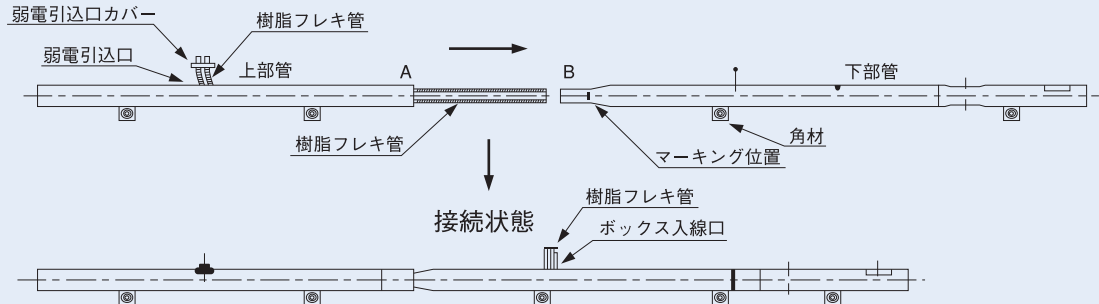


# 【引込ポールの施工手順】

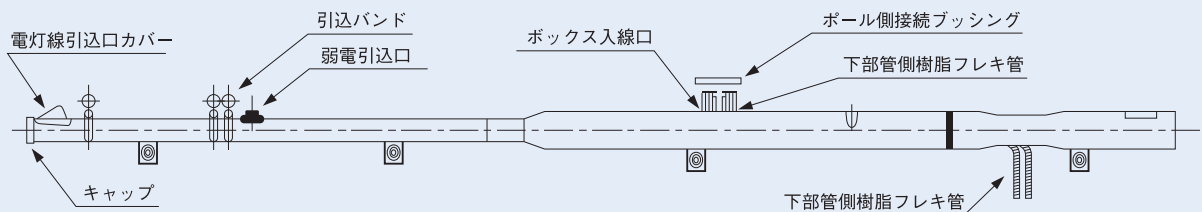
## 1 ポールの接続及び弱電引込口カバーの取付

- 上部管、下部管の梱包を取り外して、塗装面保護のため、角材の上に並べて下さい。
- 上部管の弱電引込口より樹脂フレキ管（弱電引込口カバー付）を挿入し、元口内部Aより引き出し、弱電引込口カバーを取付ビスでポール本体に取り付けて下さい。
- 上部管の樹脂フレキ管を下部管の末口内部Bへ挿入し、ポールの接続作業を行って下さい。  
（マーキング位置が隠れるまで、上部管を打ち込んで下さい。引込口、ボックスの方向を確認下さい。）
- 樹脂フレキ管を下部管のボックス入線口より引き出して下さい。



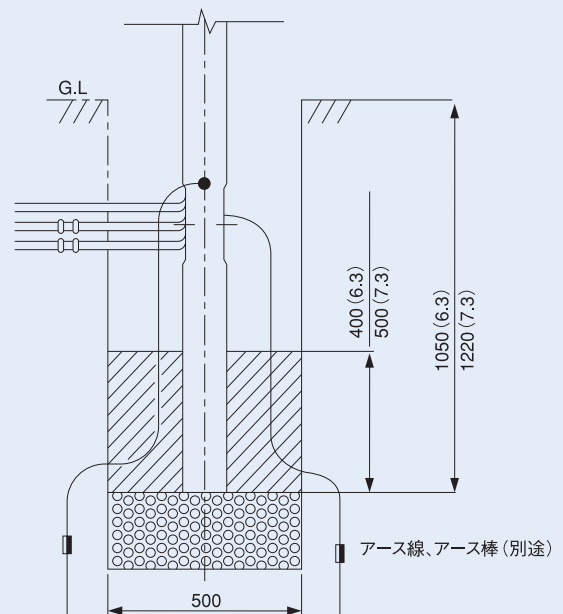
## 2 その他の付属品の取付

- 上部管の先端にキャップを打ち込んで取り付けて下さい。
- 引込バンドは、ボルト、ナットを外しポールの取付位置マークへ取り付けて下さい。
- 電灯線引込口カバーを取り付け用ビスでポール本体に取り付けて下さい。
- 下部管側の樹脂フレキ管は下部管内より引き出し図の様に挿入して下さい。
- 下部管のボックス入線口に、ポール側ゴムブッシングを取り付けて下さい。



## 3 仮建柱

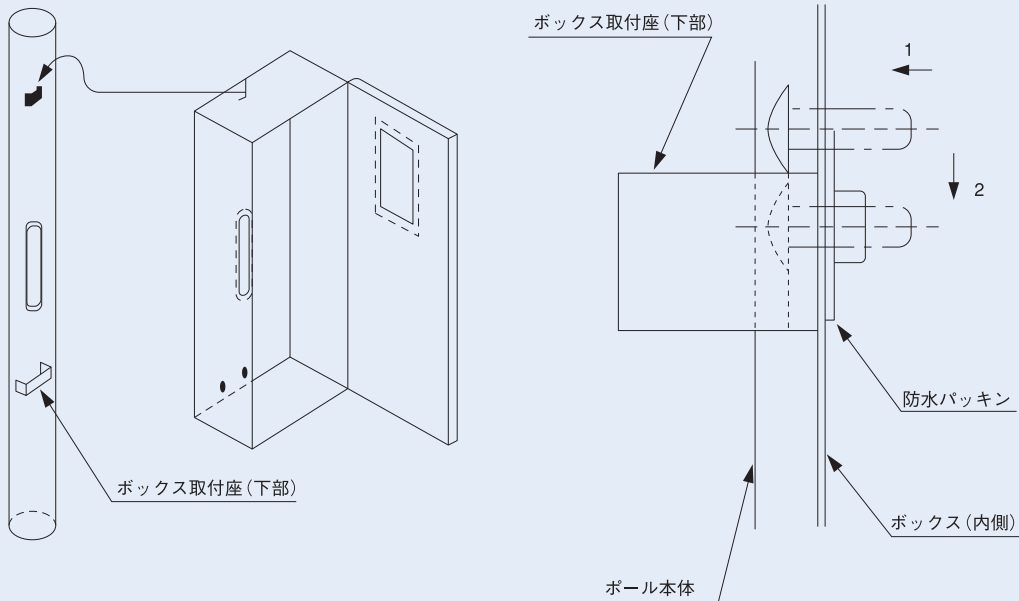
- 各部材を装着後、仮建柱を行って下さい。
- 注) 建柱の際は、方向確認下さい。
- 埋設部分の通信線用保護管を接続して下さい。
- アースはポール用、通信保安器用それぞれに必要です。



## 4

### ボックスの取り付け

- ポール側のボックス取付座上部にボックス上部背面の取付フックを引掛けて下さい。
- ボックス下部の取付ボルト用の穴に取り付けボルトをボルトの頭がポール側（奥側）になる様に差し込み、下に落とし込んで、穴に防水パッキンを貼って、ナット締めして下さい。



## 5

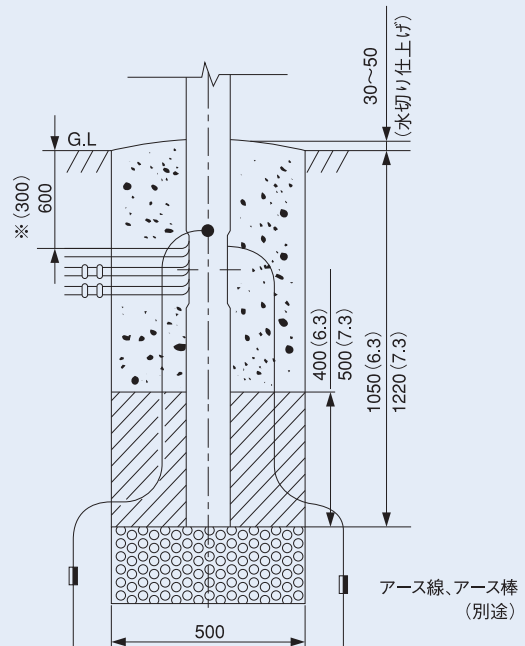
### 通信線の引込

- 通信線の引込は、予めポール内部にセットしている樹脂フレキ管の呼び線を利用して下さい。

## 6

### 本建柱

- 接続が、完了しましたらコンクリート根巻きを施して下さい。
- コンクリートは、地面より、3~5cm高めに水切り仕上げして下さい。  
(地際部の腐食進行防止)



※管径が200mm以下で鋼管、合成樹脂管等を使用する場合は、300mm以上に出来ます。  
(内線規程 820-1)